

安価な聴力トレーニング機

- 難聴児の聴力トレーニング機の開発に関する研究 (H18~19) -

愛媛県産業技術研究所 技術開発部 主任研究員 青野 洋一

聾学校等では聴力専用機を用いて、聴覚に障害がある乳幼児のトレーニングを行っています。しかし、専用機では200~300万円と高価で大型であるため、トレーニングの普及が十分できていないのが現状です。

そこで、パソコンに乳幼児が興味をそそる玩具を接続し、低価格で小型化したトレーニング機を開発しました。



既存の専用機

オーディオメーターの専用機を使っているため、接続できる褒美が少なく、乳幼児に興味を持たせて、継続的にトレーニングさせることが困難でした。



鉄道模型の使用例



ミラーボックスの使用例

トレーニング機の特徴

- 幼児の年齢、性別、興味に合わせて、楽しくトレーニングが続けられるように褒美の画像や玩具（鉄道模型、ミラーボックス等の電動玩具）を取り替えることができます。
- トレーニングは、自動で行うこともでき、常時大人の操作を必要としません。

パソコンとその周辺機器を組み合わせることで、安価で小型のトレーニング機になりました。

現在、県立松山聾学校と宇和聾学校で、このトレーニング機を使ったモニタリングを実施しています。